

第 26 回青年対策交流集会に参加して

今回、初めて青年対策会議に参加しました。

初日のオルグでは、三六協定や産別協定について学びました。三六協定は長時間労働を抑制するための歯止めとして重要であり、期間を1年や3か月に設定することで、労働環境について交渉できる仕組みであることを理解しました。また、産別協定は労働力の安売りを防ぐためにも必要なものだと感じました。

2日目の「被災地に学ぶ」では、私は大きな災害を実際に経験したことがなかったため、現地の生の声を聞いたことがとても貴重な経験になりました。意見交換の中で、今後どのように下の世代へ伝えていくかを議論し、やはり現地に足を運んで見て、感じて学ぶことが大切だと実感しました。私自身も、今後はより多くのことを自分で学び、伝えられる人になりたいと感じました。

最後に、今回中央本部の方々や全国の青年部の方々と交流でき、とても良い経験になりました。組合に対する熱量、知識、団結力に大きく刺激を受けました。この経験を活かし、学びを深めるとともに、得た知識や経験を人に伝えられる人間になりたいと思います。

関東地方本部横浜支部上組名古屋分会
青年部員 吉村 貴大